

BUDŌ

NEWS

今月のニュース

講道館鏡開式
合気会鏡開き式
1月12日に開催

講道館鏡開式Ⅱ極の形



合気会鏡開き式 = 植芝道主（中央右）の奉納演武

年頭に武道の隆盛を願う

令和7年鏡開き式・武道始め



大海軍・玉澤徳一郎日本武道館理事による鏡開き

日本武道館主催の新春恒例行事である令和7年鏡開き式・武道始めが、成人の日の1月13日に日本武道館で開催された。当日は、武道関係者、武道愛好家など1764名が参加し、鏡開き式と武道始めのほか、鎧着初め、武道9種目の模範演武が行われた。

また、同式の席上で、日本武道協議会の武道功労者・武道優良団体表彰式が行われ、功労者10名、優良団体9団体が表彰された。

開会式では、主催者を代表して高村正彦日本武道館会長が挨拶を述べた。

「新年明けましておめでとうございませす。今年も多くの武道団体、そして武道関係者のご参集を得て、鏡開き式と武道始めを挙行できますことを、大変ありがたいと思ひます。

本行事とともに成功させ、今年も武道の振興のために互いに努力することを誓ひ合ひ今日を過ごされませすよう、皆様にお願ひ申し上げます」
続いて、寺門成真スポーツ庁次長が来賓祝辞を述べた。

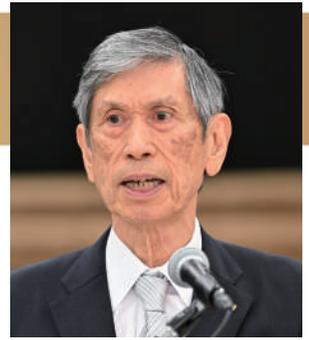
「今日、武道は子どもから高齢者に



酒樽を開く副將軍。右が栗原茂夫全日本空手道連盟副会長、左が日野廣生日本甲冑武具研究保存会専務理事



来賓祝辞
寺門成真スポーツ庁次長



主催者挨拶
高村正彦日本武道館会長

至るまで幅広い年齢層で多くの方々
に親しまれ、国内はもとより海外に
も広く普及・発展していることは誠
に喜ばしい限りです。

本日は古式に則った鎧着初めをは
じめ、鏡開き式、模範演武、武道始
めなど我が国の伝統文化を継承する
観点でも大変に意義深い行事が執り
行われます。年頭を飾るこの行事
が、今年一年の我が国における武道
振興の大きな力になることを心より
願っております

来賓紹介の後、日本武道協議会の
令和6年度武道功労者・武道優良団
体の表彰式が行われ、高村正彦日本
武道協議会会長から功労者10名に表
彰状と功労章（メダル）、優良団体
の代表者9名に表彰状が授与され
た。（10ページ）

表彰式後、場内は暗転し「鎧着初
め・鏡開き式」へと移った。

本年は玉澤徳一郎日本武道館理事
が大將軍、栗原茂夫全日本空手道連
盟副会長、日野廣生日本甲冑武具
研究保存会専務理事が副將軍に扮し
た。三献の儀（出陣、凱旋などで行
われる酒を飲む儀式）を行った後、
大將軍が神前で誓いの詞を奉読。続

いて、大將軍が大道場中央に置かれ
た鏡餅を木槌で勢よく打ち砕き、
副將軍が鏡樽を開くと、会場から大
きな拍手が湧き起こった。

帰陣した大將軍、副將軍が兜を被
る。大將軍が出陣に先立って扇を振
りながら「エイ！ エイ！」と力強
く呼びかけると全軍が「オウ！」と
応じ、鬨の音が響き渡った。その後、
太鼓の音を合図に全軍が場内を勇ま
しく行進した。（10〜11ページ）

模範演武では、川端達夫日本武道
館理事長の挨拶の後、現代9武道の
代表者が演武を披露。弓道の「四つ
矢行射」を皮切りに各武道の妙技が
披露され、渾身の演武に観客は魅了
された。（12〜13ページ）

全ての演武が終わると武道始め
（各道稽古会）が行われた。8武道（弓
道を除く）が一斉に稽古を開始する
と、それまでの静寂から一転して一
生懸命稽古に励む参加者たちの声
が大道場いっぱい響き渡った。45分
間の稽古が終了すると、先生に礼を
する子どもたちや会場で記念写真を
とる人々で賑わい、和やかな空気が
漂う中、式は幕を下ろした。（14〜
17ページ）

▼次ページ「鎧着初め 鏡開き式、
武道功労者・武道優良団体表彰式」



鎧着初め・鏡開き式



○着到状の奉読
……前軍、後軍の侍大将が着到した旨を大將軍に報告する



○三献の儀
……大將軍が打ち鮑（あわび）、勝栗、昆布を食す



○誓いの詞……大將軍が神前で誓いの詞を奉読する



○関の声……家来一同で関の声を上げる

武道功労者・武道優良団体表彰式



武道功労者

- ▷柔道=山本^{やまもと}典夫（北海道）
- ▷剣道=島野^{しまの}大洋（大阪府）
- ▷弓道=飯島^{いひじま}まさお（東京都）
- ▷相撲=下村^{しもむら}かつひこ勝彦（静岡県）
- ▷空手道=有竹^{ありたけ}たかすけ隆佐（東京都）
- ▷合気道=阿部^{あべ}ほうらん豊雲（大阪府）
- ▷少林寺拳法=石井^{いし}ひろあき宏明（千葉県）
- ▷なぎなた=黒星^{くろぼし}あつこ敦子（愛媛県）
- ▷銃剣道=桑原^{くわばら}よしき義喜（福井県）
- ▷日本武道館=玉澤徳一郎^{たまざわとくいちろう}（岩手県）

武道優良団体

- ▷柔道=学校法人佐藤栄学園埼玉栄高等学校柔道部
- ▷剣道=全日本学校剣道連盟
- ▷弓道=さいたま市記念総合体育館彩弓会
- ▷相撲=和歌山県立和歌山商業高等学校相撲部
- ▷空手道=全日本空手道連盟東北地区協議会
- ▷合気道=岐阜県合気道連盟
- ▷少林寺拳法=静岡県少林寺拳法連盟
- ▷なぎなた=佐賀県なぎなた連盟
- ▷銃剣道=高知中央高等学校銃剣道部

武道功労者の寄稿文は21～41ページ、武道優良団体の紹介は156～157ページに掲載

●大将軍・副将軍インタビュー
○大将軍 玉澤徳一郎（日本武道館理事）



「甲冑は思ったよりもずつしりと重く、長く着ているとどんどん身動きが取りづらくなってきました。これを着るために昔の侍たちが鍛錬したという侍たちが鍛錬したということが実感できましたね。終わった今もまだ気が引き縮まっているような心持ちです。

この平和な現代、のんびりし過ぎると平和を損ねてしまいます。国家を守るためには、昔の侍のように常に緊張感を持ち、自国を愛し、国の発展のために頑張っていかなければなりません。これからも、できるだけ多くの子どもたちに武道を学んでほしいですね。子どもたちが、この素晴らしい「武道」という文化を残し、精神を鍛錬すれば、国の平和を失うことはないと思っています」

○副将軍 栗原茂夫（全日本空手道連盟副会長）



「伝統ある鏡開き式にて、貴重な経験をさせていただきました。やはり日本の伝統文化は素晴らしいと思う反面、日本の伝統、ひいては侍魂が年々薄れている気がします。伝統や精神がこの鎧のような形に留まらずとも、形を変えても後世に引き継がれていくことを願っています。」

昨年空手道は団体の世界大会や、第1回ワールドカップが開催され、日本の選手団が活躍しました。今年も個人戦の世界大会やアジアオリンピックなどがありませんので、連盟としても引き続き選手強化に努めてまいります

鎧着初め 全軍紹介



前軍



後軍



中軍

【出陣者一覧】

- ▷前軍＝高橋秀彰、新井悟、佐藤誠孝、佐野良平、高橋知宏、小林聡、井坂陽一、山田詩織、岩崎結衣、穂積楓、小川一嘉、小島隆弘、北見眞幸、篠田雅夫、山本舜介、田島茉実、庄野正弘、和光龍己、渡慶次結、宮崎幸子
- ▷中軍＝玉澤徳一郎（大将軍）、栗原茂夫（副将軍）、日野廣生（副将軍）、野村ひとみ、鈴木裕介、高垣拓弥、舘坂怜、菅野将喜、大野慧、中村清恭、大久保尊文、松岡論、松崎千晶、中澤正好、長嶋学、元木涼子、大竹亮輔、分藤秀明、山屋亜由里
- ▷後軍＝戸塚直史、岡田公治、宮本康司、大野恵惟人、佐々木善一、新城誠、石橋菜穂実、濁川広一、佐野憲史、徳田雄太朗、寺門朋子、福戸亮、山田麻美、宝井琴鶴、宝井琴凌、宮澤一成
- ▷列外＝菅野茂雄、山田怜門、笠井洋介、関正敏

模範演武



模範演武挨拶
川端達夫日本武道館理事長





柔道



剣道



なぎなた



銃剣道

【演武者一覧】

- ▷柔道＝大塚功太郎（参段）、藤大知貴（弐段）
- ▷剣道＝五十嵐清裕（錬士七段）、佐野貴紀（六段）、内藤桃子（五段）、林涼子（四段）、小谷野紗希（参段）、石井ゆりあ、林晏次郎、内藤優陽、内藤優芽、小谷野悠希
- ▷弓道＝久野弥花（錬士六段）、西田友樹（参段）、久野研太（錬士六段）
- ▷相撲＝舛田守（八段）、西郷陽裕（参段）、井ノ上豪志（参段）、児玉亮（参段）、前田哉（弐段）
- ▷空手道＝平紗枝（参段）、石橋咲織（参段）、水上千穂（参段）
- ▷合気道＝藤卷宏（七段）、伊藤眞（七段）、鈴木俊雄（六段）、藤田すみれ（四段）、有馬隼人（四段）、深浦徹也（参段）、アレクシ・セシナス（参段）
- ▷少林寺拳法＝谷聡士（大拳士六段）、中井弘佑（正拳士五段）、三枝芽衣（正拳士四段）、安藤詩絵（弐段）、上村舞（弐段）、三木幸夏（弐段）、北本光（初段）、吉良ひなた（初段）、高木瑞希（初段）、袋華純（初段）、成海滯（小拳士弐段）
- ▷なぎなた＝鈴木亘（教士）、関祐介（教士）
- ▷銃剣道＝坂元誠（教士八段）、小倉弘之（教士七段）、岩崎成希（五段）、鎌倉卓摩（参段）、森川友紀子（参段）、今澤美紗貴（参段）

武道始め

【参加団体】

▽柔道 II 修徳柔道クラブ、田無警察署、TEIKA 柔道クラブ、春日柔道クラブ、高道道場、日本武道館武道学園



柔道



【参加団体】

▽剣道 II 北の丸剣友会、花畑剣友会、万世剣友会、矢口剣志会、品川平塚剣友会、平井剣友会、八武崎剣友会、日本武道館武道学園



剣道



▽相撲Ⅱ大田嵐相撲道場
【参加団体】



相撲



▼次ページ「武道始め（合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道）」

▽空手道Ⅱ日本空手道拳志会、白水修養会、教空会空手道場、偶成会、偶成会高木道場蒼鷹会支部、日本武道館武道学園
【参加団体】



空手道



武道始め

【参加団体】

▽合気道 II 公益財団法人合気会、日本武道館武道学園



合気道



【参加団体】

▽少林寺拳法 II 一般財団法人少林寺拳法連盟、日本武道館武道学園



少林寺拳法



【参加団体】

▽なぎなたⅡ東京都なぎなた連盟、日本武道館武道学園



なぎなた



【参加団体】

▽銃剣道Ⅱ公益社団法人全日本銃剣道連盟



銃剣道



講道館 鏡開式

講道館柔道を後世に受け継ぐ

講道館の鏡開式は1月12日、寛仁親王妃信子殿下のご臨席を賜り、柔道の総本山である講道館（東京都文京区）で開催され、国内外の柔道関係者が参加した。

式は午前10時に開会し、はじめに尾形敬史八段が館員代表賛詞で「講道館柔道は世界に発展し、国際柔道連盟には200を超える国と地域が加盟し、世界に誇る文化であると思う」と述べた。

次に上村春樹講道館長は「世の中は困難な状況が続いていますが、昨年はスポーツ界が明るい話題を提供してくれました。パリのオリンピック（柔道）で苦戦はいたしましたが、

3個の金メダル、2個の銀メダル、3個の銅メダルを取ることができました。世界に柔道が広まり、世界に正しく柔道を普及することを担っていかねばなりません。後世に講道館柔道を受け継いで行くことが私の使命だと思っております」と挨拶を述べた。

その後、7種の形の演武、全日本強化選手と少年部・成年部による乱取稽古が行われた。形の演武では、オリンピック柔道3連覇の野村忠宏七段が形を披露。乱取では、2020東京オリンピックで金メダルを獲得した高藤直寿五段や昨年の講道館杯優勝のグリーンカラニ海斗四段ら有名選手が参加し、会場の注目を集めた。

昇段発表証書授与では、各段位に昇段した代表者に上村館長から証書が手渡された。最後に平賀秀忠八段の発声で万歳三唱をして式は終了し、参加者に記念品として紅白饅頭が手渡された。



上村春樹 講道館長



会場の様子



形の演武（古式の形）・野村忠宏七段（右）



形の演武（固の形）



成年部の乱取



少年部の乱取

■形演武者
 投の形 取・瀧本誠六段
 受・藤中拓馬五段
 固の形 取・仙波利章六段
 受・田中嘉朗五段
 極の形 取・平野弘幸八段
 受・桐生習作六段
 柔の形 取・石田桃子女子五段
 受・石田真理子女子四段
 講道館護身術 取・長瀬あゆみ女子四段
 受・久保田浩史六段
 五の形 取・眞喜志慶治七段
 受・福地賢志郎七段
 古式の形 取・野村忠宏七段
 受・南保徳双七段



平賀秀忠八段の発声で万歳三唱

日本武道館の単行本



剣道の文化誌 明治大学教授 長尾進 著
 四六判・上製・480項・定価2,640円

本書では剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いながら、わかりやすく紹介する。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひご一読を。



剣道 その歴史と技法 埼玉大学名誉教授 大保木輝雄 著
 四六判・上製・516項・定価2,640円

本書は戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史的発展の経緯を示した。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、連載終了後5年のときを経てついに単行本化。



合気道 その歴史と技法 合気道道主 植芝守央 著
 四六判・上製・362項・定価2,640円

世界140の国と地域、国内2,400の道場・団体が愛好される合気道。開祖・植芝盛平翁の生涯、植芝吉祥丸二代道主による普及・振興、さらなる発展に繋げた現道主による取り組み、その歴史の中で培われ伝え続けてこられた合気道の理念、それを体現する稽古法、基本的な技法の解説……合気道の全てを網羅した決定版。



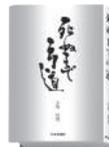
空手道 その歴史と技法 小山正長・和田光二・嘉手苺徹 著
 四六判・上製・548項・定価2,640円

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苺徹氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苺氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一篇。



マンガ・日本武道風土記 漫画家・別府大学委員教授 田代しんたろう 著
 B5判・248項・定価1,100円

全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の資料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。マンガの世界で日本各地をめぐってみたいは。



死ぬまで弓道 弓道教士七段 小牧佳世 著
 四六判・上製・342頁・定価2,640円

競技中に急性大動脈解離に倒れた筆者は奇跡的な生還を果たす。その8カ月後に弓道を再開し、わずか2年後に皇后盃で十射皆中、優勝を果たした。本書では激動の自伝を記し、弓のあり方や「早気」など弓道家の誰もが陥る課題などを模索する。死の淵を覗き、現在も全身全霊で弓を引き続ける筆者だからこそ記せた弓道伝記かつエッセイ



学校武道の歴史を辿る 筑波大学名誉教授 藤堂良明 著
 四六判・上製・354項・定価2,640円

明治維新を迎え、武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度の中に組み込まれ、発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え、「格技」として復活。平成24年度には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

ご注文・お問い合わせ

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部
 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<https://www.nipponbudokan.or.jp>



合気会 鏡開き式

和合の精神で社会貢献へ

合気会の鏡開き式は1月12日、東京都新宿区の合気道本部道場で開かれた。国内外の合気道関係者が集まり新年を祝った。

式は午後2時に開会し、植芝守央合気道道主が「昨年はコロナ禍からの甦りの年として、多くの行事を無事に開催し、海外の派遣・来訪者が限りなく元へ戻るといふ充実した年となりました。今年は巳年、蛇が脱皮するということで古来、再生復活を意味するといわれております。十千十二支という乙巳は、若いエネルギーが発展していく特別な年とされています。合気道界におかれましても、若い世代の方々に合気道の素晴

らしさをもっと知っていただきながら、これまでの流れを大切に、よりよく次世代へ継承させていくことで、合気道界は脱皮をしながらさらに実を結んでいくと思っております。今年も皆様と共に稽古を大切に精進を重ね、開祖が唱えられた『和合の精神』をいかながら社会に貢献し、しっかりと前へ進んでまいりたいと思えます」と年頭挨拶を述べた。

次に山谷えり子参議院議員が来賓祝辞を述べ、続いて、植芝道主と植芝充央本部道場長の奉納演武が披露された。その後、昇段者発表・証書授与(初段〜八段位)が行われ、代表者は植芝道主から証書を授与されると、会場から大きな拍手で祝された。

最後に直会が開かれ、多田宏本部師範が挨拶を述べ、赤沼二己男合気会理事が乾杯の発声を行い歓談へ移った。参加者は日本酒やお汁粉に舌鼓を打ちながら、歓談にふけった。



植芝守央
合気道道主



国内外の合気道関係者が集まった＝昇段者発表・証書授与



植芝道主の奉納演武



植芝本部道場長の奉納演武

第41回若潮杯争奪武道大会

柔道
男子

東海大相模（神奈川）が連覇

剣道
男子

郁文館（東京）が初優勝

▶柔道男子決勝Ⅱ東海大相模（奥）対大成



第41回若潮杯争奪武道大会（主催Ⅱ日本武道館、国際武道大学）が昨年12月25～27日に国際武道大学（千葉県勝浦市）で開催された。全国から選抜された高校生が集結し、初日になぎなた、2日目に剣道、最終日に柔道を行った。

■柔道（男女各16チーム）

男子は昨年優勝の東海大相模と大成（愛知）の決勝。3―1で東海大相模が連覇を果たした。

女子は予選を全て一本勝ちで勝ち上がってきた比叡山（滋賀）と、大成の顔合わせ。試合は比叡山が2―0で勝利し、盤石の強さで初優勝を果たした。

■剣道（男女各24チーム）

男子の決勝は、郁文館と高千穂（宮崎）の顔合わせ。代表戦を制した郁文館が初優勝に輝いた。



剣道男子決勝＝郁文館（右）対高千穂

■なぎなた（男子24名・女子48名）

女子は東奥義塾（青森）と筑紫台（福岡）の決勝。勝者数で1―1と並んだが、得本数で上回った東奥義塾が初の栄冠を手にした。

男子決勝は3連覇に期待がかかる瀨長拓夢（沖縄）知念と齋藤侃駿（福島・会津学鳳）の一戦。試合は瀨長がメンで一本勝ちを収め、3連覇を果たした。

女子決勝は佐藤さなみ（岡山・美作）が片岡萌（東京・城東）に判定勝ちを収め、初優勝に輝いた。



なぎなた男子決勝＝瀨長拓夢（右）対齋藤侃駿



柔道男子優勝=東海大相模 (神奈川)



柔道女子優勝=比叡山 (滋賀)



剣道男子優勝=郁文館 (東京)



剣道女子優勝=東奥義塾 (青森)



なぎなた男子入賞者



なぎなた女子入賞者

【大会結果】

■柔道

- ▽男子①東海大相模 (神奈川) ②大成 (愛知) ③修徳 (東京)、天理 (奈良)
- ▽女子①比叡山 (滋賀) ②大成 (愛知) ③埼玉栄 (埼玉)、富士学苑 (山梨)

■剣道

- ▽男子①郁文館 (東京) ②高千穂 (宮崎) ③秋田商業 (秋田)、明豊 (大分)
- ▽女子①東奥義塾 (青森) ②筑紫台 (福岡) ③明豊 (大分)、守谷 (茨城)

■なぎなた

- ▽男子①瀬長拓夢 (沖縄・知念) ②齋藤侃駿 (福島・会津学鳳) ③多田浩太郎 (奈良育英)、背戸田壮悟 (北海道札幌国際情報)
- ▽女子①佐藤さなみ (岡山・美作) ②片岡萌 (東京・城東) ③関笙乃 (東京・富士)、白倉鞠衣 (山梨・甲府昭和)